

ご卒業おめでとうございます

Contents

- 卒業生に贈る言葉 総長 学長… 2 / 学園を去るにあたって… 4・5
平成29年度学長賞表彰… 6 / 学長賞受賞者・学長奨励賞受賞団体のコメント… 7
卒業生・修了生の皆さんへお知らせ… 8

卒業生に贈る言葉

新しく巣立つ人へ



総長 池田 魯参

皆さん、ご卒業おめでとう。教職員一同、心からお祝い申し上げます。皆さんは、この日が来るのを楽しみに長い間ご支援くださったご親族の皆さまへ、一言、感謝の気持ちを伝えてください。本学で大学教育を修め、それぞれ社会で活躍される皆さんが、さらに人格を陶冶され、やがて豊かな人生の果実を手にとられるであろうことを、私は心から念じています。

道元禅師の若き日の言葉を収録した『正法眼蔵随聞記』の中に、「高くとも射つべく、深くとも釣りぬべし」（巻三）という禅語が見えます。この語の意味は、たとえどんなに天空高く飛ぶ鳥でも射落さずにはおかない、どんなに海底深く潜む魚でも釣り上げずにはおかないという、凜乎とした気概を表現しています。こういう気持ちでないと何事も成就するはずがない、願い求める志が切であれば、どんな課題も解決しないことなどあるのか、と禅師は門弟たちを激励されました。

3年前（2015年9月）、「持続可能な開発目標」^{エスディージーズ}（SDGs）17項目が国連で採択されました。曹洞宗が長年教化目標としてきた「人権の尊重」「平和の実現」「環境の保全」という三大願いも、勿論17項目の中に明記されました。

本学を卒業される皆さんは、地球規模のこういう課題に対しても、真正面から向き合って欲しいと願っています。気が遠くなるような万里^{みちのり}の道程の目標も、己れ一人の今日の一歩から始まる道理です。

人生、急ぐなかれ、 されど弛むなかれ



学長 長谷部 八朗

ご卒業おめでとうございます。駒澤大学で過ごされた学園生活はいかがでしたか。授業やサークル活動の光景、師や友との出会い・交流、アルバイトなどの社会体験等々、在学中の様々な思い出が、走馬灯のごとく脳裡に去来していることでしょうか。それらの二度と得がたい思い出を心の引き出しに収め、皆さんは、人生の新たなgrade（段階）へと向かうわけです。卒業式がgraduationと呼ばれる所以です。

とはいえ、皆さんの前に打ち寄せる社会の波音は、決して穏やかとは言えません。今日の時代相は激しく動き、絶えず変容の只中にあります。少子高齢化問題に始まり、ボーダーレスからグローバル化・多様化、高度情報社会からAI社会への革命的展開など、日本ないし世界的な課題がひしめいています。前進しなければならぬ私たちは、常に苦境にあると言っても過言ではありません。しかし、急ぐなかれ、焦るなかれ。と同時に大切なことは、弛むなかれ、です。

人生の歩みは、しばしば、らせん階段を上るがごとし、と言われます。その歩みは遅々として、また、見える景色は堂々巡りで代わり映えがしないけれども、実は一歩一歩高みへと向かっている。その意味で、この金言は、直線的な「前進」よりも、一見迂遠ではあるが着実な「漸進」に、人生行路の本質を見出そうとする言葉と言えましょう。

こうして皆さんが、日々の小さな歩みを積み重ね、大きな未来を切り拓かれることを祈念しつつ、私の贈る言葉といたします。

一松語

「朝の来ない夜はない」とは、吉川英治の名言であるが、戦時中この言葉に多くの人が励まされた。大戦中に書かれた新聞小説『宮本武蔵』は、明日をも知れぬ読者の心をとらえたのである◆右手に大太刀、左手に小太刀を持ったという武蔵は、「剣禅一如」という精神を貫いた。剣の奥義は禅と同じであり、無念無想こそ剣の真髄と悟ったのである。興味深いのは、実はこの言葉を残したのは沢庵であり、しかも武蔵と沢庵の接点

を示す史料はなく吉川の創作であった◆沢庵は遺物で有名であるが、幕府の寺社への締め付けに対抗したため、京に寄れない時期があり、江戸にいた時に柳生新陰流の柳生宗矩^{やまぎょう しのぶのり}に説いたのが剣禅一如である。弟子をとらず一禅僧として歩み、功績のある僧侶に与えた国師号も辞退し、信念のある禅僧であった◆宮本武蔵『五輪書』には「万事に於いて我に師匠なし」とあり、接点のなかった沢庵に通じるものがある。一方で『宮本武蔵』には「会う人、会おうもの、すべて我が師なり」と史実とは逆の場面があり、吉川の理解した武蔵像には彼の人生観が加味されていると推測される◆吉川の最終学歴は小学校中退。職業を転々として苦境を乗り越えベストセラー作家になった。彼は「職業に貴賤はない、どんな職業に従事していても、その職業になり切っている人は美しい」という。卒業式を迎えた皆さん、これから出ていく社会の中で、とことん自分の職業を究めてください。いつか必ず美しく輝く朝がくるでしょう。ご卒業おめでとう！

社会人となる 皆さまへ

教育後援会—在学生父母の会—



教育後援会会長
正田 賢司

ご卒業おめでとうございます。私たち教育後援会は、皆さま在学生の保護者の団体であり、保護者として学生のことを考えながら、奨学金をはじめとした様々なサポートを行っています。

さて、皆さんは、いよいよ4月からは社会人となる方がほとんどだと思います。これからは、自分たちの力で立って、生きていくということになります。でも、必ずいろいろな壁にぶつかることがあると思います。保護者は、これからは「保護」者ではなくなりますが、少し長く生きていくことによる経験や皆さんに対する愛情はたっぷりと持っています。困ったときもそうでないときも、ぜひ家族に相談し、ときには甘えてください。

仕事でも生き方でもあるいは好きなことでも、何か目標を定め、一步一步進んでください。皆さまのご活躍を心より願っております。

「而今」 今を大事に

駒澤会—卒業生父母の会—



駒澤会会長
森屋 正治

卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。

駒澤大学駒澤会は卒業生父母の会として我が子を駒澤大学で学ばせていただいた御恩返し思いを込め、永きにわたり一人でも多くの学生に奨学金を授与し、学業邁進をはかることを目的の一つとして活動しております。

皆さまは建学の精神である「行学一如」のもと大学生活を成就され、新たに実社会へと歩みを進めることとなりました。今まで将来への方向性を求めて、勉学に励まれ、いよいよ自分の持ち味を発揮できる時が来たのです。

自分の目標を掲げ、今の自分には何ができるのかを考え、駒澤大学の卒業生として満足のいく人生を送られ、各方面でのご活躍を念じ、お祝いの言葉といたします。

同窓会会員としての 新たなスタート

同窓会—卒業生の会—



同窓会会長
萩野 虔一

卒業生の皆さま、ご卒業を祝し、駒澤大学同窓会を代表しご挨拶申し上げます。

同窓会は、現在海外を含め59支部があり、若年層や女性会員も参加しやすい行事を都道府県支部単位で開催しています。

この2年間力を入れてきたことの一つに、女性会員が同窓会に参加しやすい環境づくりがあります。卒業後、どの世代においても、時間的制約が多く、なかなか参加できない女性会員に、まずは気軽に参加できるような交流から始めてもらっています。より多くの同窓生が集まれる活動を続けることで、あらゆる同窓生が平等であるよう努めてまいります。

各支部からのご案内が届きましたら、ぜひ、支部活動にご参加ください。皆さまの所属する支部では、役員が一人となり活動を盛り上げていきます。

卒業生に贈る言葉 学部長からのメッセージ

今、世の中は、成果や効率を数字で示すことに忙しい。やった結果が数字になるのではなく、よい数字になるようにやる、そんな顛倒が習慣化し、あげく、数字のほうを操作してちゃんとやったことにするという不正までもが、社会のあちこちで起こっています。

でも、駒澤大学から巣立つみなさんは、そんな流れに呑み込まれないでほしい。

かのスティーブ・ジョブズ氏が禅に傾倒していたという話、みなさんも在学中、どこかで聞いたことがあるでしょう？氏が終生、心の師と仰いだ乙

川弘文老師、乙川老師をアメリカの禅センターに呼び寄せた鈴木俊隆老師、いずれも本学の同窓生、つまり、ずっと昔、今日のみなさんと同じように、我が駒澤大学を卒業された方々でした。

そんな老師たちの影響を通して禅のこころを学んだジョブズ氏は、あるとき、こう言ったと伝えられています。

—ベストを尽くして失敗したら、ベストを尽くしたってことさ。

みなさんも、どうか、にっこり笑ってこう言えるような人生をおくってください。

ご卒業、おめでとうございます！
(総合教育研究部長 小川 隆)

仏教学部	石井 公成
文学部	橋詰 直道
経済学部	代田 純
法学部	王 志安
経営学部	長 國強
医療健康科学部	西尾 誠示
GMS学部	各務 洋子
総合教育研究部	小川 隆
法科大学院	松本 英俊

学園を去るにあたって

卒業生からの

メッセー ジ



貴重な経験

仏教学部仏教学科4年 安藤 良祥

この度駒澤大学を卒業することになり、諸先生や職員の皆さま、そして4年間通わせてくれた両親に心から感謝しています。ありがとうございました。大学生活で驚いたことは、先生方の熱意あるご指導でした。90分という時間に一切手を抜かず、私たちに分かりやすく教えてくださる姿勢は、真剣さがひしひしと伝わってきました。とても学びやすい環境であったと思います。

卒業論文を作成する中で、吉村誠先生には早い段階から熱心にご指導していただき、とても感謝しています。教授職という忙しい間をぬって、週に何度もご指導いただくこともありました。そのお陰や素晴らしい質と量を誇る大学図書館にも助けられ、より一層有意義な研究が行えました。

仏教の分野で日本最高峰の一つである駒澤大学で仏教を学べた4年間は、とても貴重な経験でした。



かけがえのない4年間

文学部国文学科4年 木嶋 美帆

私は、やりたいことを明確にせず、大学に進んでしまいました。いざ将来の目標が決まった時、国文学科の学生だと就職に不利ではないかと悩んだ時期もありました。しかし、国文学科で学んだことは、就職活動だけに限らず、私の大きな糧となりました。文学作品を読むことを通して、多くの問題を考える時間ができ、多面的な思考力を身につけることができました。討議形式のゼミでは、自分に不足していた発言力が鍛えられました。他の学生との関係を通して、得たものも計り知れません。その甲斐もあり、志望通りの職種に就けました。大学で積極的に学ぶことを通して、自己を磨き上げることができたのだと切に思います。

お世話になった先生方、友人たち、家族のおかげですばらしい日々を送ることができました。ありがとうございました。



駒澤大学での4年間

経済学部現代応用経済学科4年 江川 茉那

あっという間の大学生活、この4年間は最も早く感じた4年間でした。

日本経済史のゼミで、副ゼミ長を務めさせていただきました。いくつもの乗り越えなければならない壁がありましたが、振り返ると、いつも同期のゼミメンバーに支えてもらっていました。頼りがいのある同期生、尊敬できる先輩、このような私を頼ってくれる後輩、そして優しく指導してくださった先生と出会えたことが、私に大きな影響をもたらしてくれました。このゼミでしか経験できないようなことを多く経験させてもらい、入って良かったと感じています。

一番感謝しているのは、私を4年間大学に通わせてくれた両親です。私の好きなようにやらせてくれた両親には心から感謝しています。この4年間は、今後も私の人生において大きな存在となるでしょう。充実した4年間をありがとう。



かけがえのない出会いと経験

法学部法律学科フレックスA 4年 清野 亨人

新生活への期待と不安でいっぱいだった入学式から早くも4年が経ち、振り返ってみると私にとって大学生活というものには「多くの経験を通じて、自分自身が成長できる大切な時間」でした。私はこの4年間、ゼミ活動、サークル活動、アルバイトなどを通じて、多くの出会いと様々な経験をし、これまでにないくらい充実した日々を過ごすことができました。また勉学においても、将来の目標に向かって意欲的に取り組むことができました。

私が胸を張って卒業を迎えることができたのは、これまで支えてくれた両親をはじめ、充実した時間を共に過ごした友人たち、様々な指導をしてくださった先生方が傍にいてくれたおかげです。これからは社会人として、多くの人々の期待に応えられるように頑張ります。本当にありがとうございました。



4年分の2年間

経営学部経営学科4年 足立 千夏

私は編入生として、2年前の春に駒澤大学の3年生になった。そして何の運命か、経営学に興味を持つきっかけとなった先生のゼミナールに、新規ゼミ生として入ることになった。ゼミナールでは、知識の蓄積に加え、企業に向けてプレゼンテーションを行ったり、先生や仲間の力を借りながら自分の調べたいことを研究したりと、アクティブな活動を通して経験値を積んだ。そして、ゼミナール生との出会いは何よりかけがえのないもので、入った当初は不安だったが、気付けば先生やたくさんの仲間に支えられ、私にとって唯一無二の居場所となった。2年間の大学生活にしてはあまりにも多くの出来事があり、駒澤大学やゼミナールから幸せな時間をいただけたことに、感謝しかない。ここでの成長を次に活かしていくことで、お世話になった人たちに恩返しをしていきたい。



医療人としてのスタート

医療健康科学部診療放射線技術科学科4年 齋藤 拓也

診療放射線技師を志して駒澤大学に入学し、これまで数多くのことを学びました。それは国家試験合格に必須である放射線や医学の知識だけではなく、医療人としての心構えです。

私たちはX線やCT、MRIなどを用いて患者の内に潜む疾患を画像化し、医師の読影を補助する役割があります。したがって、私たちの技術や知識が、患者の健康と生死に関わることは言うまでもありません。日々進歩する医学に対応することは相当の努力が必要だと思いますが、患者一人ひとりの人生が私たちにかかっていることを決して忘れてはいけないと学びました。

ともに卒業を迎える皆とは診療放射線技師として全国各地の医療機関に進みますが、今後も互いに切磋琢磨し、刺激し合える関係でいたいと思います。最後にこの場をお借りして、お世話になった先生や友人に感謝申し上げます。



私にとっての4年間

グローバル・メディア・スタディーズ学部

グローバル・メディア学科4年

嶋田 龍也

私にとっての駒澤大学での4年間はあっという間のものでした。ですが、この4年間でしかすることができない経験をたくさんすることができました。2年生の時にはサークルの代表を務め、団体を運営することの難しさを知り、3年生以降はゼミ長として、その経験を生かしていくことができました。ゼミでは3度のゼミ合宿も行き、卒業論文も執筆でき、とても充実した時間を過ごすことができました。また、教職課程も履修し、母校に実習生として帰るといった貴重な体験もすることができました。毎週の英語の授業、就活、教職課程の授業、卒業論文と大変なことも多くありましたが、振り返れば楽しいことばかりの4年間でした。

駒澤大学ではたくさんの先生方、職員の方々にお世話になり、そしてたくさんの仲間に恵まれながら4年間を過ごすことができました。ありがとうございました。



平成29年度 学長賞表彰

学長賞 個人10人 学長奨励賞 9団体 個人26人

学長賞および学長奨励賞は、学業・善行・研究・文化・体育などの分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に貢献した者、または学生団体をたたえる賞です。

学長賞を受賞した卒業年次生は、3月の卒業式において表彰されます。

学長賞

■ 個人の部

人物及び学業又は研究業績とも優秀な者

▶(専門職学位課程)総合GPAが3.0以上で、C評価及びF評価がない修了見込者であって研究科教授会の推薦がある者

- 鶴野 俊史 (法曹養成専攻3)

▶取得科目平均点が100点満点中90点以上でかつ全ての評価がA以上の者

- 武田 尚子 (国文4)
- 金井 巧介 (英米文4)
- 飯倉 愛美 (歴史4)
- 阿部 ひな子 (市場戦略4)

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

▶対内外的において、著しい業績をあげた者又は学生団体

- 下川 功祐 (経営4)
「MOS/ACA世界学生大会2017」日本代表選考会 大学・短期大学部門パワーポイント入賞
- 杉本 りさ (心理2) 空手道部
第16回アジアジュニア&カデット・アンダー21大会 第3位
内閣総理大臣杯 第60回全国空手道選手権大会 女子個人組手優勝
第10回世界ジュニア&カデット・アンダー21大会 優勝
- 沖島 輝 (経済4) ボクシング部
ASBCアジア選手権大会 日本代表 (ライトウェルター級)
第70回関東大学ボクシングリーグ戦 1部リーグ階級賞 (ライトウェルター級)
- 片西 景 (地理3) 陸上競技部
第29回ユニバーシアード競技大会男子ハーフマラソン 優勝
- 工藤 有生 (政治4) 陸上競技部
第29回ユニバーシアード競技大会男子ハーフマラソン 準優勝

学長奨励賞

■ 団体の部

特に善行があって他の模範となる者又は学生団体

▶他の模範となる善行があり、教授会の推薦のある者又は学生団体

- 経営学部公認学生団体KOSMOS・ゼミフェス運営委員会
経営学部ゼミフェス運営委員会としてゼミ合同説明会の企画・運営
- 経営学部中村公一ゼミ
「区制85周年玉川のみなさまこれまでありがとうフェスティバル」の企画および運営への貢献
- 経営学部青木茂樹ゼミ
・世田谷区「歩きぬた魅力アップ推進事業 (協総合支所)」への協力 (世田谷区民や職員との会議や現地調査を実施し、動画・マップの完成に貢献)
- ・スポーツイベント「スクラム甲府」へのボランティア協力

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

▶対内外的において、著しい業績をあげた者又は学生団体

- 経済学部姉齒曉ゼミ
由利 陽良 (商1)・高島 有美 (現代応用経済2)・田中 勇也 (経済3)・塩本 夏美 (現代応用経済3)・佐々木 蒼一朗 (商3)
新潟県受託事業「新潟県・大学生の力を活かした集落活性化事業」

- 経営学部中野香織ゼミ
第5回日本広告学会関東部学生会広告論文賞「金賞」
- 経済学部 田中 由香 (商3)・倉品 果歩 (現代応用経済3)・及川 侑香 (現代応用経済3)
2017年度学生観光論文コンテスト「全日本シティホテル連盟会長賞」
- 空手道部
第61回全日本大学空手道選手権大会 女子団体型 準優勝 女子団体組手 第3位
- 硬式テニス部
平成29年度関東学生テニストーナメント大会 男子ダブルス第3位
日野 勇人 (経営2)・田村 迅 (経済2) ベア
- 女子ラクロス部
第30回関東学生リーグ戦 2部昇格

■ 個人の部

人物及び学業又は研究業績とも優秀な者

▶研究論文・ゼミ等で優秀、又はユニークな研究業績をあげた者で、複数の教員の推薦がある者

- 島田 ミト (経済4)
ワークスアプリケーション・インターシップ「優秀賞」
- 森 瑠菜 (商3)
学生ビジネスプランコンテスト「アイデア賞」
- 渋谷 明憲 (政治4)
政治学論文コンクール「最優秀論文賞」

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

▶対内外的において、著しい業績をあげた者又は学生団体

- 篠原 昌樹 (心理2)
日本心理学諸学会連合主催心理学検定特1級認定
- 長野 楓 (心理3)
日本心理学諸学会連合主催心理学検定特1級認定
- 古川 菜央 (心理3)
日本心理学諸学会連合主催心理学検定特1級認定
- 板谷 凜華 (心理3)
日本心理学諸学会連合主催心理学検定特1級認定
- 戸村 朝香 (心理3)
日本心理学諸学会連合主催心理学検定特1級認定
- 高橋 尚頌 (心理4)
日本心理学諸学会連合主催心理学検定特1級認定
- 高橋 龍之介 (心理4)
日本心理学諸学会連合主催心理学検定特1級認定
- 野村 朋央 (心理4)
日本心理学諸学会連合主催心理学検定特1級認定
- 中西 竜也 (商4)
トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム日本代表選出
- 北岡 道和 (グローバル・メディア2)
「未来面」(日本経済新聞朝刊及び電子版)へのアイデア掲載
- 木原 聡美 (グローバル・メディア2)
「未来面」(日本経済新聞朝刊及び電子版)へのアイデア掲載
- 掛川 拓海 (グローバル・メディア3)
「未来面」(日本経済新聞朝刊及び電子版)へのアイデア掲載
- 齊藤 晃平 (グローバル・メディア3)
「未来面」(日本経済新聞朝刊及び電子版)へのアイデア掲載
- 野際 七海 (グローバル・メディア3)
「未来面」(日本経済新聞朝刊及び電子版)へのアイデア掲載
- 本橋 諒 (グローバル・メディア3)
「未来面」(日本経済新聞朝刊及び電子版)へのアイデア掲載
- 中畑 澄玲 (法律2) アイススケート部
世界シンクロナイズドスケート選手権大会2017 日本代表
2018スプリングカップ 日本代表
- 水野 佑香 (政治4) 弓道部
第47回全関東学生弓道選手権大会 女子個人戦優勝
- 高橋 潤哉 (経営2) サッカー部
KBZBankCup2017 日本代表 (U-21)
- 星 キョウファン (法律2) サッカー部
KBZBankCup2017 日本代表 (U-21)
- 橋本 拓磨 (経済1) 卓球部
2018サフィール国際オープン 日本代表 (選手派遣)
- 南出 仁 (商4) ボクシング部
第72回国民体育大会 成年男子バンタム級 準優勝
第87回全日本ボクシング選手権大会 バンタム級 第3位
- 堀合 大輔 (国文3) 陸上競技部
第49回全日本大学駅伝対校選手権大会 第6区 区間賞
- 立川 透 (グローバル・メディア2) 格闘ゲームサークル「駒格」
ZOWIE Fight World Cup 2017 優勝

学長賞受賞者のコメント

学業成績・研究業績による受賞

積水成淵

金井 巧介

文学部
英米文学科4年



この度は、学長賞をいただき、大変光栄に思います。

大学生活を振り返ってみると4年間は本当にあつという間でした。学業の他に部活動やアルバイトに時間を割かれる中、私が心がけていたのは目の前に全力を尽くし、「当たり前をただ当たり前に行うこと」でした。無遅刻無欠席は勿論のこと、分からないことは調べて解決する、そういった日々の積み重ねが毎年の学長学業奨励賞に繋がり、果てに学長賞へととなりました。日々の生活の中で怠けたいという誘惑はありましたが、そのような時にはいつも、両親の支えと、厳しくも丁寧に教えてくださる先生のことを思い浮かべて励んで参りました。

この4年間で学んできたことを糧に、これからも頑張っ

研究・文化活動での活躍による受賞

感謝

下川 功祐

経営学部
経営学科4年



この度は学長賞という大変名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。

私は大学4年間を通して、自分に必要なものを積極的に吸収していく姿勢を大切にしてきました。MOSもその1つです。PCスキルは社会に出てから確実に求められるものであり、高いレベルまで引き上げる必要性を感じていました。結果としてOfficeのPower Pointで良い成績を残せたことを嬉しく思います。

また、在学中は様々な面で支援をいただいた両親をはじめ、先生並びに職員の方々、周りの友人には大変感謝しております。これからも周りの環境への感謝を忘れず、自分の選択には自信と責任を持ち精進していきます。

国際大会等での活躍による受賞

素直に続ける

沖島 輝

経済学部
経済学科4年
ボクシング部



高校生の時に日本一に5回なることができ、駒澤大学に入学しました。しかし怪我もあり、最初のリーグ戦では思うように動くことができず、1勝もあげることができませんでした。全く大学に貢献できず不甲斐ない思いをしましたが、小山田裕二監督、林田太郎コーチの熱い指導と中島成雄会長のサポートがあり、2年生から勝ち星をあげられるようになりました。そして3年生の時に全日本選手権で優勝することができました。

この度、学長賞を受賞できたのも周りの方々のサポートのおかげだと思います。卒業後も小山田監督、林田コーチの下でオリンピック金メダルという夢に向かって限界からの挑戦をモットーに頑張っていきたいと思っています。

学長奨励賞受賞団体のコメント

大会等での活躍による受賞

さらなる高みを目指して

女子ラクロス部

この度は、名誉ある学長奨励賞を受賞することができ、大変光栄に思います。昨年、関東学生ラクロスリーグ3部ブロック1位通過、その後の2部3部入替戦において勝利を収めることができ、2部リーグに初の昇格を果たしました。大学関係者の方々をはじめ、皆さまのお力添えがあった結果だと思っています。本当に感謝しています。ありがとうございました。

現在、「1部昇格」を目標に掲げ、日々の練習に励んでいます。決して簡単に達成できる目標ではありませんが、女子ラクロス部持ち前の明るさと仲の良さを強みに、今以上



に精進して参ります。これからも応援よろしくお願いたします。

(主将 経済学部商学科3年 秋吉 波奈)

卒業生・修了生の皆さんへお知らせ

卒業証明書、成績証明書等の申し込み

窓口申し込み、郵送申し込みの2つの方法があります(電話・FAX・Eメール等による申し込みは受け付けません)。

【窓口申し込み】

公的機関発行(有効期限内)の身分を証明するもの(運転免許証・パスポート・健康保険証・住民票等)を持参のうえ、直接来校してください(教務部①～③番窓口)。

【郵送申し込み】

以下の4点を封書で郵送してください。

- 公的機関発行の身分証明書(有効期限内)の写し
- 必要事項記載用紙
 - ①氏名(卒業時氏名・フリガナ併記。英文証明書希望者は欧文氏名も併記)
 - ②生年月日
 - ③入学年月・卒業年月
 - ④学部・学科・専攻
 - ⑤学生番号
 - ⑥フレックスA・Bの別
 - ⑦卒業時の本籍地(都道府県名)
 - ⑧証明書種類・必要部数(厳封の要・不要を記入してください)
 - ⑨使用目的・提出先
 - ⑩連絡先(住所・電話番号・日中連絡のつく電話番号も併記)
※任意の書式可。また本学ホームページより専用フォームのダウンロードも可能です。

駒澤大学ホームページ
→ 同窓生の方 → 各種証明書について

- 証明書発行手数料(切手)
1通300円
(英文による証明書は1通600円)
- 返信用封筒
長形3号封筒 23.5×12cm
宛先明記・送料分の切手貼付

【申し込み先】

〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1

駒澤大学教務部 証明書係

TEL: 03-3418-9121

なお、夏季・冬季休業中、および学校行事等で事務取り扱い日・時間の変更になることがあります。お問い合わせください。

卒業アルバムを購入された方へ

ご卒業おめでとうございます。

卒業アルバムは6月下旬から随時お届けを予定しています。

予定を大幅に過ぎてても卒業アルバムが届かない場合、または住所が変更となった場合、その他ご相談がある場合は下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】

学生部学生課(学生部①窓口)

TEL: 03-3418-9064

卒業後の図書館利用について

卒業後も図書館のご利用ができます。来館の際は、1階カウンターで、身分を証明するもの(運転免許証・健康保険証等)を提示し、所定の「図書館利用願」に記入して、館内利用の手続きを行ってください。

貸出が受けられる貸出登録手続き(有料)等の詳細は、図書館ホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】

図書館情報サービス係

TEL: 03-3418-9165

MAIL: reference@komazawa-u.ac.jp

駒澤大学ホームページ
→ 図書館 → 利用案内 → 卒業生の方

KOMAnet IDの削除について

卒業生および修了生の方のユーザIDは、3月31日をもって削除されます。

これに伴い、個人データはメールも含めすべて削除されますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】

総合情報センター

MAIL: itc@komazawa-u.ac.jp

同窓会について

- 卒業後の同窓会からの連絡
・「同窓会だより」(年1回9月発行)をお届けしますので、転居される方はお知らせください
・ホームカミングデーご案内(大学から発送、年1回)
・各支部からの総会・懇親会・その他行事のお知らせ
- 卒業時、帰省先を登録されている方は住所変更をお願いします。
ホームカミングデー案内等すべて登録の住所に送られます。毎年転居先不明で多くの返送が生じています。
- ミニ同窓会、サークルOB会など開催の際は、記念品(タオル・会報誌)を提供しますので、ご連絡ください。
- 平成30年度ホームカミングデー開催日程は9月発行の同窓会だよりで詳細をお知らせします。

【問い合わせ先】

同窓会事務局

TEL: 03-3418-9188・9189

FAX: 03-3418-9190

MAIL: komazawa-dosokai@komazawa-u.ac.jp

駒澤会について

駒澤大学駒澤会は駒澤大学を卒業したお子さまを持つ父母の会として、昭和46年10月に発足しました。会の主な事業として在学生へ奨学金(毎年400万円)を給付しています。奨学金は入会者から納入いただいた会費(年会費1万円)を基金に充てています。卒業年次生父母の皆さまへは3月中旬に入会案内を郵送しております。奨学金支給継続のため、お子さまが卒業された後は駒澤会へご入会いただきますようお願いいたします。

SNSやPRサイトからも駒澤大学の“今”を発信しています。



駒澤大学ホームページ
www.komazawa-u.ac.jp/



Facebook
www.facebook.com/komazawa.university



Twitter
@komazawa_univer



YouTube
www.youtube.com/user/komazawauniv



駒大PLUS
www.komazawa-u.ac.jp/plus/



ラボ駅伝
www.komazawa-u.ac.jp/plus/topics/lab-ekiden/

学園通信330号掲載 駒大クイズ正解発表

Q1の解答: 3体 駒沢キャンパス 記念講堂、中央講堂、禅文化歴史博物館

Q2の解答: 9号館1階、学生会館入口、図書館1階(9号館1階のラックは工事に伴い学生談話室に移動しました)

多数のご応募ありがとうございました。次回は、332号(4月8日発行)にクイズを出題します。